



尼崎市立 美方高原自然の家

2021年度事業報告

野外活動施設指定管理獲得について

指定管理施設の獲得に向けた対応

- 指定管理提案申請 2件 (9月) (ISO9001、他団体との環境教育連携)
 - 尼崎市立美方高原自然の家 令和4~8年度 (5年間) の指定管理者として選定
 - 尼崎市立青少年いこいの家 指定管理獲得ならず
- 近畿地区を中心とした獲得可能な野外活動施設の絞り込み調査開始
- サウンディング調査による運営提案 2件 (3月)
 - 兵庫県立兔和野高原野外教育センター (現在、非公募施設)
 - 兵庫県立嬉野台生涯学習センター (現在、非公募施設)

IT機器を活用した野外活動について

関西学院大学・情報科学芸術大学院大学との共同研究

- ARネイチャーラリー（7月）、ARアドベンチャーラリーの提供開始（8月）
- IT機器を活用した野外活動における影響調査開始。

- 実践事例発表

日本野外教育学会（11月）

関西野外活動ミーティング（3月）

文部科学省 活動事例集への掲載情報の提供（1月）（2022.5月 掲載）

自然学校支援委員会について

自然学校支援委員会

- 目的：自然学校支援の課題解決策を美方高原自然の家へ答申すること。
- 構成員：尼崎市自然学校特別委員会委員長、兵庫県教育委員会委員、尼崎市教育委員会自然学校担当、南但馬自然学校調査研究員、尼崎市市内大学の教育学部准教授（事務局 自然の家所長）

2021年度自然学校支援委員会からの答申

- 指導補助員・教員への研修の実施
- ひょうご青少年社会貢献活動認定制度への参加

持ち越し課題

- 自然学校における冒険教育の可能性について、継続協議を行います。

コロナ禍の対応について

自然学校支援（尼崎市等への指導者派遣）

- 学校への活動支援 42校

自然学校尼崎市等への指導派遣 38校 67日（ISO9001適用）

自然の家1泊2日 1校 自然の家2泊3日 2校

県立村岡高等学校アウトドアスポーツ科授業支援 年14回 1校

- 安全対策 コロナ感染拡大防止ガイドラインの更新（7回）

コロナ禍の対応について

主催事業 16事業 261人

- 青少年育成事業 4件 77人 (トムソーヤキャンプ・冒険キャンプなど)
- 一般家族自然体験事業 2件 49人 (秋の腹ペコキャンプなど)
- 広報事業 2件 32人 (美方高原ウインターフェスなど)
- 日帰り自然体験事業 8件 97人 (やってみようラボ、新米をたべようなど)
- 指導者養成事業 2件 6人 (キャンプインストラクター養成講座など)
- 緊急事態宣言休館による中止した事業 (4/25-5/11) 3事業